

# 世界農業遺産



森林・里・湖 に育まれる 渔業と農業が織りなす  
**琵琶湖・システム**

生活協同組合コープしが 組織広報部 西地区運営事務局

事務局長 西口 とも子

琵琶湖と共に生する滋賀の農林水産業推進協議会  
(滋賀県 農政水産部 農政課) 岡村 貴司



# 滋賀県・琵琶湖の概要

## 滋賀県

人口 (2025年10月1日現在)

約139.7万人

面積

4,017 Km<sup>2</sup>

平均寿命 (2023年)

82.73歳 (男性) ※全国1位

88.26歳 (女性) ※全国2位



滋賀県は耕地面積の9割以上が水田

水稻栽培が盛んな米どころ！

## 琵琶湖

日本最大の湖

面積: 約670 km<sup>2</sup>

日本唯一の古代湖

約440万年の歴史をもつ、世界でも有数の古い歴史を持つ湖

貯水量

約 275 億トン

近畿約1450万人への命の水を供給

# 世界農業遺産

## 琵琶湖・システム



水田営農に支えられながら発展してきた伝統的漁業を核とした「琵琶湖と共生する農林水産業」を「森・里・湖(うみ)に育まれる 漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」と呼んでおり、令和4年7月18日に「世界農業遺産」に認定された。

このシステムは1,000年以上にわたる歴史の中で育まれた自然と人の持続的な共生モデルといえるものであり、この伝統的なシステムを継承することは、当地域に住む私たちに課せられた「責務」であると考えている。

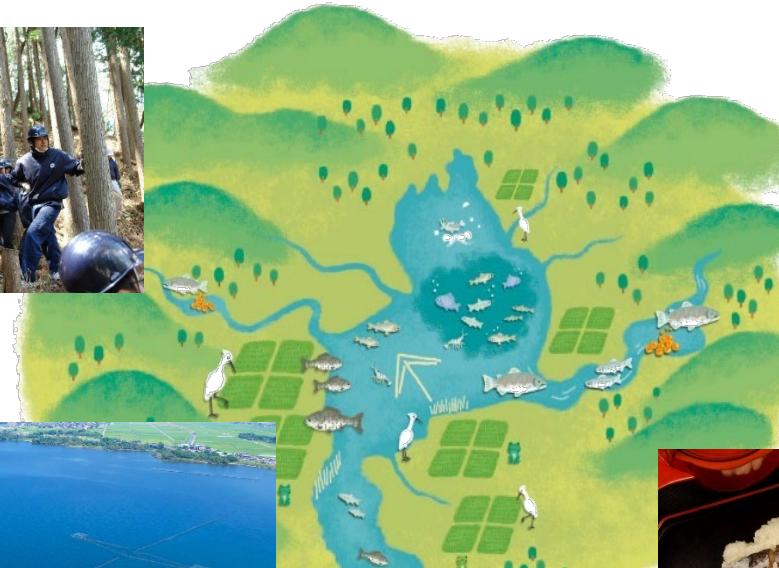
### 林業

#### 水源林の保全

水源林の保全には、漁業者や地域住民も参画している。山に木を植えて育てることが洪水や渇水を防ぐことに役立っているほか、川に上って産卵する湖魚の繁殖環境の保全にもつながっている。



水源林保全活動



### 漁業

#### 伝統的な琵琶湖漁業

千年以上の歴史を持つエリ漁は、魚の習性を利用し、「つぼ」と呼ばれる部分で漁獲する。必要なサイズ・量だけを漁獲できる持続可能な漁法として、現代に受け継がれている。



琵琶湖の小型定置網「エリ」



魚のゆりかご水田を泳ぐ稚魚

### 農業

#### 環境に配慮した農業

琵琶湖の水質や生態系を守るため、排水を管理し農薬や化学肥料を減らす「環境こだわり農業」やオーガニック農業、琵琶湖から田んぼに遡上して産卵する湖魚を支える「魚のゆりかご水田」などが営まれている。



ふなずし

### 食文化

#### 伝統的な食文化とお祭り

「鮎ずし」に代表される湖魚をご飯に漬け込んで発酵させる保存食「なれずし」は、贈り物や祭礼のお供えにも使われてきた。こうした食文化や祭礼は、地域の絆の醸成にもつながっている。

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業は、国連の定めた持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標の達成に寄与しており、特に「6 安全な水を世界に」、「14 水産資源の保全」、「15 陸域生態系の保全」、「17 パートナーシップで目標を到達しよう」などの達成にも貢献しています。

また、琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ(MLGs)にも、大いに貢献しています。



# 魚のゆりかご水田

- ニゴロブナなどが産卵のために遡上する水田
- 雨季の水位上昇時に琵琶湖から遡上
- ほ場整備により、水田の水面と落差が大きくなつた水路には魚道を設置
- 水田でふ化した稚魚が琵琶湖に下るため、水産資源の保全に寄与



魚道の設置



設置された魚道



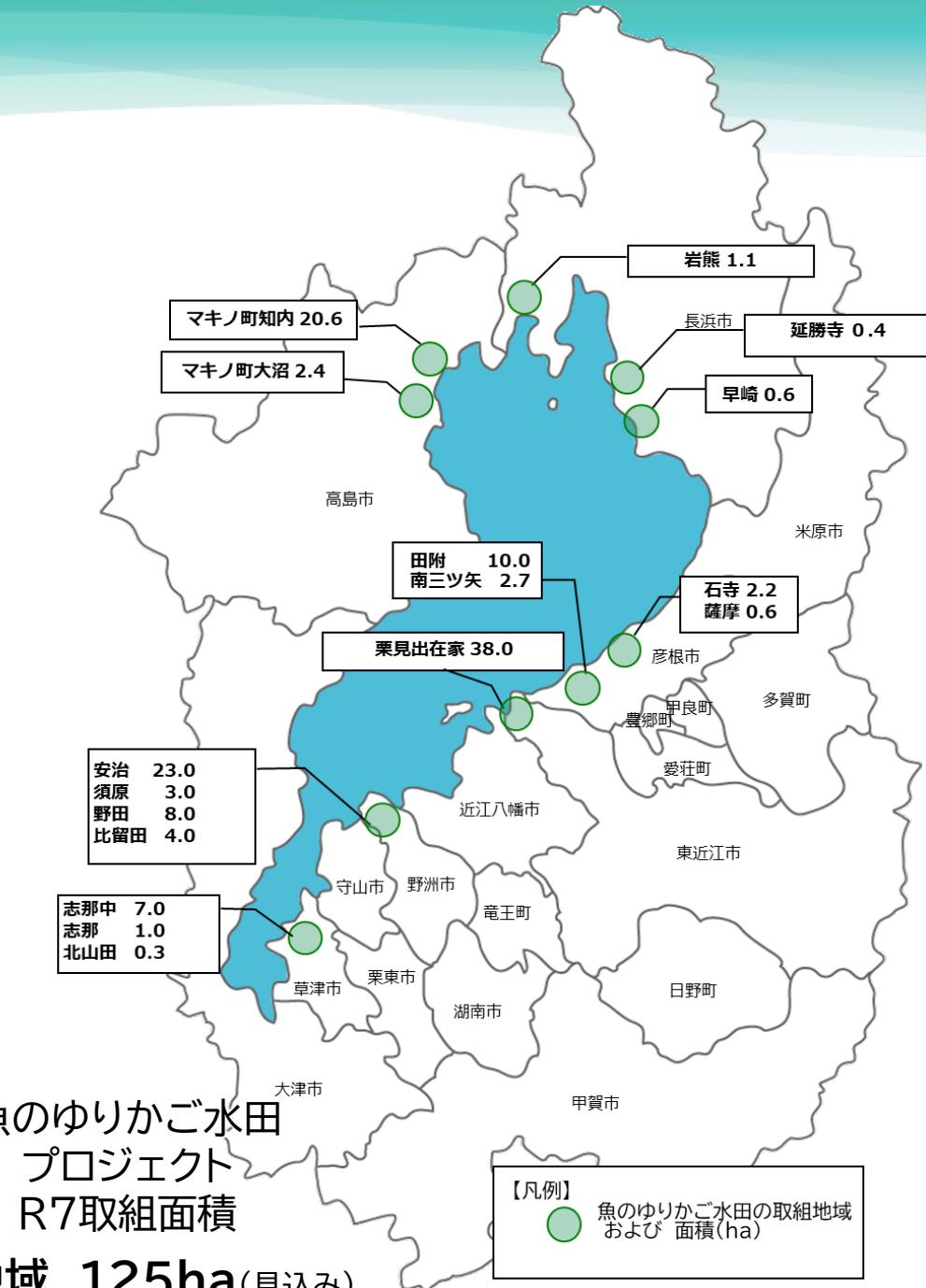
水路を遡上する魚



水田を泳ぐ稚魚

17地域 125ha(見込み)

魚のゆりかご水田  
プロジェクト  
R7取組面積







# 琵琶湖システムへの企業・大学等の関わり

滋賀県  
Siga Prefecture

琵琶湖システム  
Biwa Lake to Land Integrated System

色合い | 領事 | 開拓 | 小 | 組織 | 大

△学ぶ △食べる △される △応援する

イベント 資料集 活動レポート 関連リンク集

滋賀県 > 球磨川システム > 沿岸工事 > 球磨川システムを支えてくださる方々のご紹介

## 琵琶湖システムを支えてくださる方々のご紹介

### 株式会社万代様

株式会社万代様におかれましては、滋賀県の世界農業遺産「琵琶湖システム」の取組にご賛同いただき、毎年御賛辞を頂戴しております。  
頂いた御賛辞は、「琵琶湖システム」から生まれたされた魚と農産農産物を活用した新規地グルメ「びわ湖魚グレメ」創出事業等に活用させていただいているあります。

### 株式会社万代様のご紹介

株式会社万代は、1日平均約42万人、年間1億5千万人以上のお客様にお越しいただいている、関西圏を中心とした品・スーパー・マーケットを展開している企業です。  
お客様の暮らし「より豊かに」「より楽しく」「より快適に」を合言葉に様々な改革に挑戦しています。万代グループの農業法人として、「滋賀県でどこよりも安心・安全でおいしい野菜・果物を生産してお客様に提供したい」との想いを込めて滋賀県野洲市に「グリーンエコスター」を2005年に設立。主にイチゴ・小松菜などの有機栽培を手掛けており、日々・うまいを武器とした独自ブランドを出荷が追い付かないほどの人気となっています。

そのグリーンエコスターでの取扱品を万代の各店舗を通じてお客様へ提供させていただいているあります。

## 企業版ふるさと納税(滋賀県HP)



協定企業による水源林の保全



魚のゆりかご水田イベントへの参加



魚道設置のための資材の提供や技術的な協力



関連グルメの開発



関連商品の開発

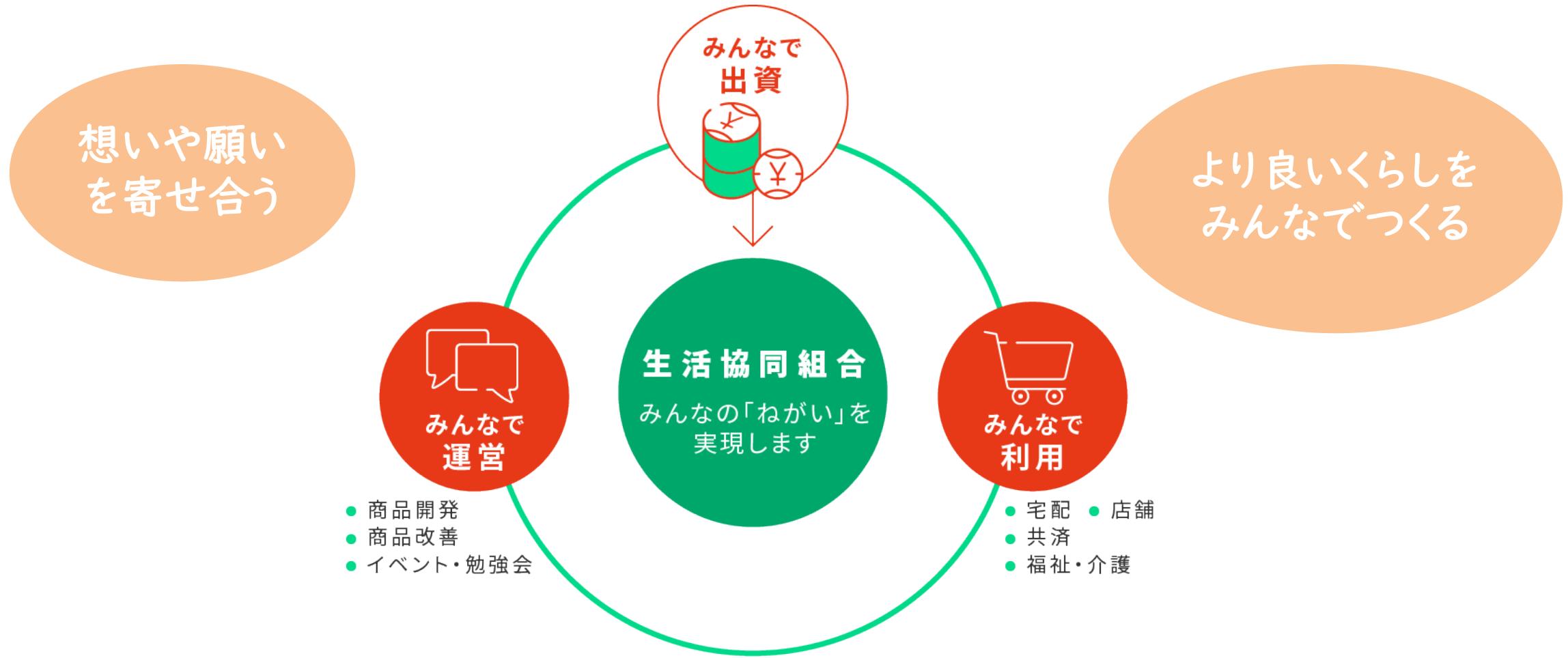
# 目次

---

1. コープしがについて
2. しがのふるさと支え合いプロジェクト  
魚のゆりかご水田 について
3. 高島市マキノ町 知内農業組合とのとりくみ
4. 今後に向けて



# 生協・協同組合とは？

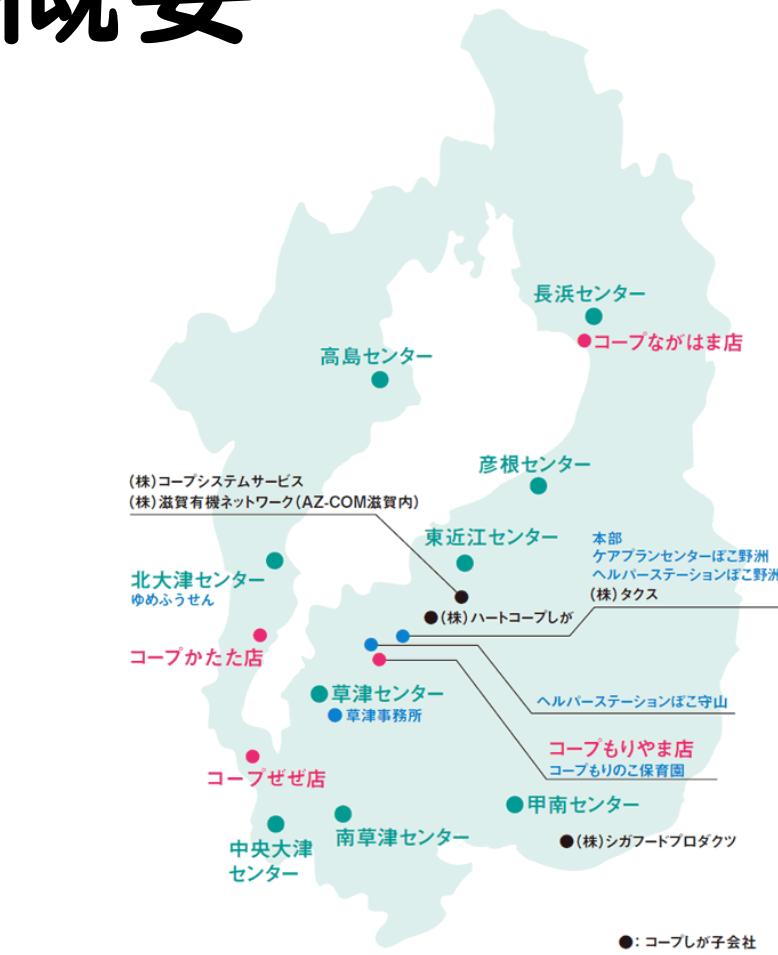


出典:日本生活協同組合連合会HP



# copeしがの概要

- ◆理念 「ともにつくる 笑顔あふれる未来」
- ◆設立 1993年3月21日
- ◆本部 滋賀県野洲市富波甲972番地
- ◆組合員数 22万3862人
- ◆加入率 37.0%
- ◆事業 宅配事業・店舗事業・夕食サポート事業  
共済事業・エネルギー事業・介護事業 等
- ◆職員数 1590人





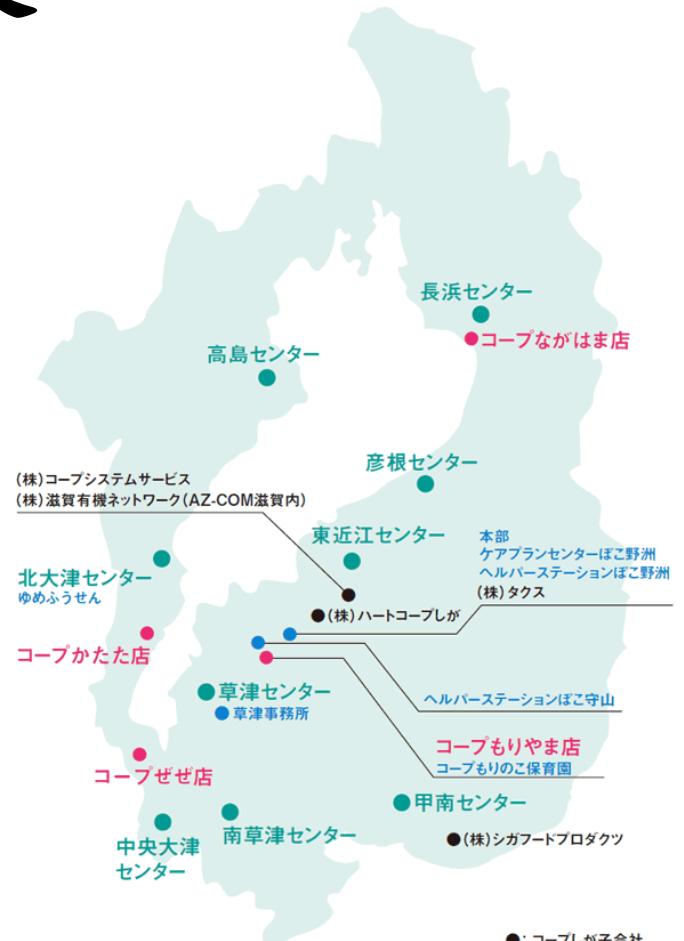
# copeしがの事業

## ◆理念

「ともにつくる 笑顔あふれる未来」

## ◆事業

宅配事業・店舗事業・夕食サポート事業  
共済事業・エネルギー事業・介護事業 等



生活協同組合コープしが

# 組合員活動

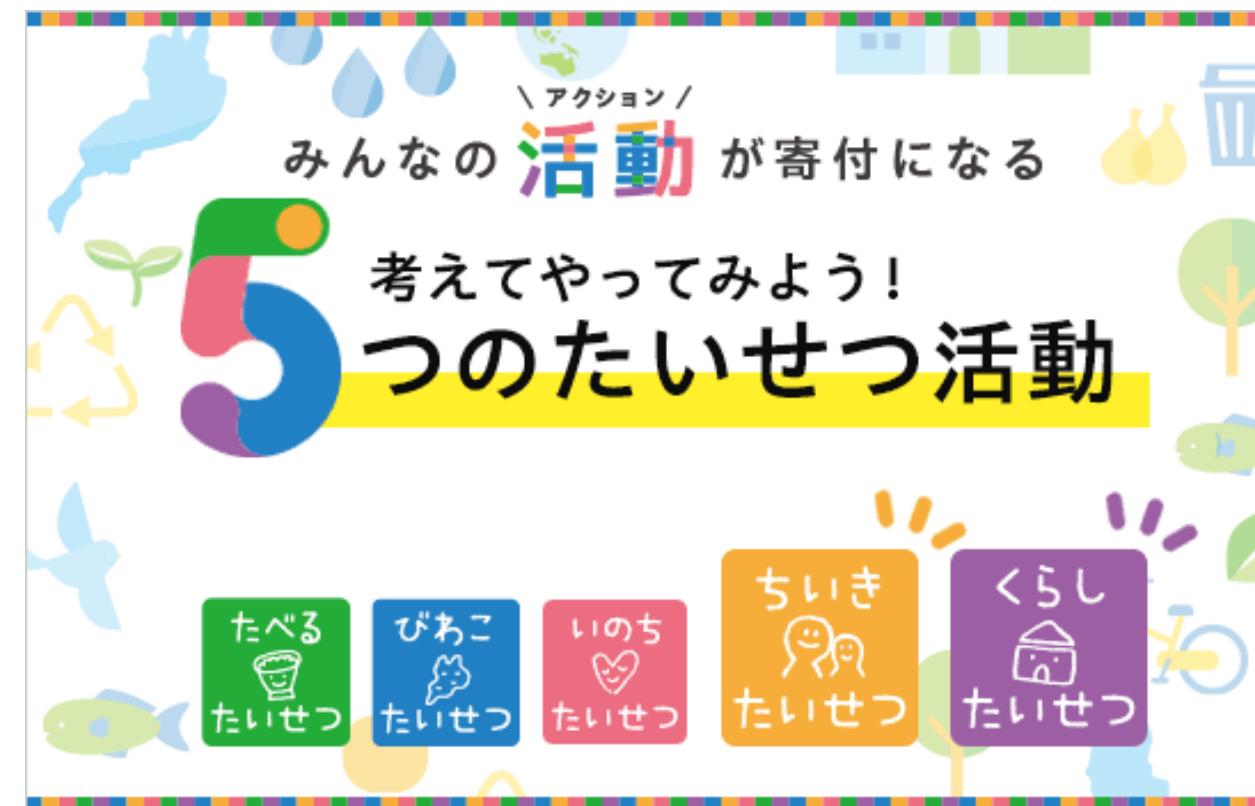
たべる  たいせつ

びわこ  たいせつ

ちいき  たいせつ

くらし  たいせつ

いのち  たいせつ



# しがのふるさと支え合いプロジェクト

しがのふるさと支え合いプロジェクトは、農山村の活性化や新たな価値の創造を目的に、中山間地域と企業・大学・高校・NPO等が協働活動を行うプロジェクトです。

## 中山間地域



こんなことでお困りですか？

- ・農作業の  
人手が足りない！
- ・地域活性化の  
アイデアが欲しい！
- ・特産品を開発したい！

## 企業・学校・NPO



こんなことでお困りですか？

- ・持続可能な社会  
づくりに貢献したい
- ・中山間地の農業を  
実践的に学びたい！
- ・フィールドワークの  
場所が欲しい！

## 県がマッチング



中山間地域と企業等の間に県  
が入り両者の話を伺います。  
合意が出来れば、協定を結び、  
3年以上の協働活動を行って  
いただきます。

## 3年以上の協働活動



県内では様々な協働活動に取  
り組まれています。

- 活性化検討会
- 地域特産品の開発
- イベント支援
- 棚田保全作業 … etc

# しがのふるさと支え合いプロジェクト

令和4年度 しがのふるさと支え合いプロジェクト

【活動地区:高島市知内】

コープしが



知内農業組合



協定の目的 知内集落の活性化と消費者との絆の創出

協定における連携・協力事項

- 1 魚のゆりかご水田の取組
- 2 都市農村交流支援

## しがのふるさと支え合いプロジェクト協定書

生活協同組合コープしが（以下「甲」という。）と知内農業組合（以下「乙」という。）は、「魚のゆりかご水田」の取組を通じた知内集落の活性化および消費者と産地の絆を深めることを目的として、相互に連携・協力しながら、協働事業に取り組むこととし、次のとおり協定を締結する。

### （連携・協力事項）

第1条 甲および乙は、次の事項について、連携・協力のもと、相互に合意した具体的な事業に協働で取り組む。

- (1) 魚のゆりかご水田の農作業に関すること
- (2) 都市農村交流に関すること
- (3) その他両者が協議して必要と認められる事項

### （期間）

第2条 この協定の有効期間は、締結の日から3年間とする。ただし、有効期間満了日の1か月前までに、甲乙いずれからも改廃の申入れがないときは、更に1年間同一内容で更新するものとし、その後も同様とする。

### （その他）

第3条 この協定に定めのない事項または疑義等が生じた場合は、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の証として本協定書を3通作成し、甲乙および立会人署名の上、各自1通を保有する。

令和4年11月10日

甲 滋賀県野洲市富波甲972  
生活協同組合コープしが  
理事長

白石一夫

乙 滋賀県高島市マキノ町知内2033-1  
知内農業組合  
組合長

萬本久義

立会人 滋賀県大津市京町四丁目1番1号  
滋賀県知事

湖大進



# PJ／魚のゆりかご水田の取り組み

琵琶湖から湖魚が田んぼへ遡上できるよう排水路に魚道を設置することにより、昔ながらの水田環境を取り戻す取り組み…それが

「魚のゆりかご水田プロジェクト」  
その効果として、生態系の再生、地域の環境意識の向上など、多くのことが期待できます。

びわこ  たいせつ

ちいき  たいせつ

たべる  たいせつ



# PJ／魚のゆりかご水田の取り組み



# PJ／魚のゆりかご水田の取り組み

5月25日

田植え当日の朝、  
たんぽに魚たちが戻ってこれるよう  
『魚道づくり』をしました。



5月25日

さあ！田植えです。みんなの出番です！



知内組合のいちご農家さん  
からの差し入れです！

6月22日

生きもの観察会



9月13日

ついに稻刈り！！



マキ／ピックランドのブドウもごちそうさまでした！

# PJ／参加者の声①



子どもにお米を大切に  
食べる・残さない・感謝する  
気持ちをもってほしかったから



年々、近所に田んぼが  
減っていて、子どもに  
お米を身近に感じてほ  
しいと思ったから

去年参加して  
子ども達が  
想像以上に  
楽しんでいた  
から

しがのふるさと支え合いプロジェクトに  
参加しようと思ったきっかけ



子どもが今年も  
参加したい！と  
言ったから



普段食べているお米が  
どのようにして食べられ  
るようになるのかを考  
えるきっかけになればい  
いなと思ったから



自然の中で行う  
お仕事や生活に  
興味があったから



# PJ／参加者の声②



お米のありがたさを感じてもらえる大事な教育だと思いました。

日々管理してくださっている方とお会いできたので、この体験を通して、子ども達にお米を大切に食べてほしいと思います。

子どもが小さい頃からお米がどうやって食卓までやってきてくれるのかが学べてとてもいい機会だと思います。

ありがとう  
ございました

自然の恵み・それにまつわる小動物の営みを体感できる機会になりました。

高島の自然の豊かさを知り、イベント以外でも親子で生き物を見に来たいと思いました。



今年で3回目、いつも楽しく参加させていただいています。子どもも大人も楽しく学べてとても良い取り組みだと思います。来年もぜひよろしくお願いします。



# PJ／参加者の声（お子さんから）

## 農家さんへのメッセージ

おこめをせつたいたいせつにする  
おこめをたいせつにたべます



楽しい体験をありがとう！

知内  
猪さん  
ありがとうございます。

農家も楽しいひとと  
ました。



美味しいお米をありがとう！

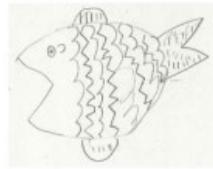
かにく食でれる身に育ててくれてありがとう  
ございます。



おこめをせつてくれてありがとう

私たちが育てられないときにお米育ててくれてありがとうございます。

私たちが育てられない時に  
お米を育ててくれてありがとう！



おいしいお米、全部たべる！  
ありがとう！

まいにちおいしいおこめをくたさり  
おいしいおいしいすやすやまいにちせうが  
べるようにしてます。

## もっと多くの人へ知ってもらう

## はたらきかけときっかけづくりをともに★★

# これから★★

